

◆ 研究テーマ

情報編纂研究室では、人と人とのコミュニケーションを支援する物語の重要性、情報圧縮技術としての物語の特性、創造活動支援ツールとしての物語生成等に着目し、これを研究のキーワードとして情報アクセスや知識創造支援の研究に取り組んでいる。これらの基盤技術として、「ナラティブ連想情報アクセスのフレームワーク」についての研究・開発を、理論レベルから実際のシステム構築、運用まで視野にいれて進めている。

本研究では、単にユーザが直面している問題の解答を探索するのみではなく、場合によっては、問題や要求そのものが変化し、その解決法を探索するプロセスにより、新しい概念世界を創造することを目指す。このために、既存の情報を発掘するだけではなく、新しい物語を生成するための機構を実現しなければならない。つまり、検索技術が(過去に生成された)蓄積物を対象にしているのに対して、ナラティブ連想情報アクセスでは、これから生成される新しい物語を産出す技術の研究開発を目指している。

◆ 展示内容

「ナラティブ連想情報アクセス・フレームワーク」は、論文、小説、新聞記事、設計議事録、歴史史料、商品レビュー等、文書情報を、統合的に扱い、情報獲得を支援することが可能な汎用的な枠組みであり、その一部を展示・紹介する。

